

令和5年4月30日

赤穂市教育委員会 様

公益財団法人赤穂市文化とみどり財団

理事長 藤 池 俊

令和4年度 赤穂市立歴史博物館の事業報告について

赤穂市立歴史博物館指定管理者管理運営基準に基づき、令和4年度管理委託に係る事業について別紙のとおり報告いたします。



歴史博物館(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

開館日数 310日

区分	常設			展			特別展			合計	
	入館料(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館料(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館料(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)
個人	大人	200	10,237	大人	300	345,000	大人	1,150	2,047,400	11,387	2,392,400
	小中学生	100	59,300	小中学生	150	3,600	小中学生	24	59,300	617	62,900
団体	大人	160	3,063	大人	240	90,000	大人	375	490,080	3,438	580,080
	小中学生	80	14,720	小中学生	120	360	小中学生	3	14,720	187	15,080
減	大人	120	19,200	大人	180		大人	180	19,200	160	19,200
	小中学生	60		小中学生	90		小中学生	90			
免	大人	100	50,600	大人	150	12,000	大人	80	50,600	586	62,600
	小中学生	50	600	小中学生	75	150	小中学生	2	600	14	750
団体	大人	80		大人	120		大人	120			
	小中学生	40		小中学生	60		小中学生	60			
100人以上50%	大人	60		大人	90		大人	90			
	小中学生	30		小中学生	45		小中学生	45			
100%	大人			大人			大人	144		1,539	
	小中学生			小中学生			小中学生	41		580	
特別利用券利用者	大人			大人			大人	83		84	
	小中学生			小中学生			小中学生				
赤穂観光パスポート	通りやんせ		(@120×113) 13,560	通りやんせ			通りやんせ	13		83	13,560
	計			計			計				
合計	大人	15,432	2,620,840	大人	1,845	447,000	大人	1,845	2,620,840	17,277	3,067,840
	小中学生	1,328	74,620	小中学生	70	4,110	小中学生	70	74,620	1,398	78,730
合計	計	16,760	2,695,460	計			計		18,675	3,146,570	

(赤穂観光パスポートの入館料収入は、常設展にまとめて計上した。)

特別展、企画展等の開催

歴史博物館

特別展

期 間 令和4年11月19日(土)～12月19日(月)
名 称 「令和4年度特別展 上方の忠臣蔵浮世絵」展
内 容 江戸時代後期から明治時代初期にかけて上方(大阪・京都)で出版された忠臣蔵の浮世絵を京阪神の諸機関から借用、190枚を展示、上方における忠臣蔵文化の広がりを紹介
入館者数 1,915人

巡回展(共催)

期 間 令和4年9月10日(土)～10月18日(火)
名 称 「兵庫県立歴史博物館“ひょうご五国”歴史文化キャラバン」展
内 容 兵庫県立歴史博物館との共催巡回展
兵庫県を構成する旧五国(摂津・播磨・但馬・丹波・淡路)の歴史文化の特色について資料約50点を展示して紹介
入館者数 2,225人

常設展展示替 令和4年8月24日(水)
義士コーナー展示「尾形月耕 義士四十七図」
明治時代の浮世絵師、尾形月耕による浮世絵シリーズ作品「義士四十七図」全49枚を一堂に展示・公開

令和5年2月1日(水)
義士コーナー展示「初公開の忠臣蔵浮世絵」
近年館蔵となった幕末から明治時代に出版された未公開の忠臣蔵浮世絵35枚を展示・公開

文化図書等の発行事業

(1) 特別展図録の発行

・歴史博物館特別展図録の発行

発行日 令和4年11月19日
図書名 「上方の忠臣蔵浮世絵」
発行部数 600部

(2) ミュージアムグッズの製作

製作月	グッズ名	製作数	備考
令和5年3月	「赤穂緞通クリアフォルダ」	300部	歴史博物館

赤穂市立歴史博物館の管理運営に関する業務の収支決算書
(令和4年度分)

(単位:円)

収入

項目	予算	決算	差引	内訳
歴史博物館管理収入	25,000,000	24,353,586	646,414	歴史博物館管理収入
施設利用料収入	3,000,000	3,146,570	△ 146,570	施設利用料収入
合計	28,000,000	27,500,156	499,844	

支出

項目	予算	決算	差引	内訳
人件費				
給料手当支出	9,626,000	9,622,774	3,226	職員給 3人、諸手当
福利厚生費支出	2,409,000	2,384,240	24,760	共済費、社会保険料外
小計	12,035,000	12,007,014	27,986	
物件費				
旅費交通費支出	164,000	118,610	45,390	旅費
消耗品費支出	975,780	975,780	0	施設管理用消耗品外
燃料費支出	37,343	37,343	0	ガソリン代
会議費支出	1,990	1,990	0	来客賄
印刷製本費支出	406,223	406,223	0	特別展ポスター・チラシ印刷外
光熱水費支出	6,163,044	5,848,574	314,470	電気代外
修繕費支出	277,620	277,620	0	収蔵庫空調機修理外
通信運搬費支出	348,000	313,010	34,990	電話料外
保険料支出	59,000	54,450	4,550	自動車損害保険料外
広告料支出	70,000	66,000	4,000	特別展広告掲載料
手数料支出	5,500	5,500	0	史料収納木箱開錠料
委託料支出	6,037,500	6,007,563	29,937	清掃管理業務委託 1,287,000 特別展業務委託 1,885,450 建物管理業務委託外 2,835,113
使用料賃借料支出	1,245,000	1,234,817	10,183	特別展展示ケース賃借料外
原材料費支出	5,000	4,400	600	展示補助用フェルト
消耗什器備品費支出	110,000	85,635	24,365	施設備品
負担金支出	17,000	16,463	537	兵庫県博物館協会負担金外
雑費支出	42,000	39,164	2,836	諸雑費
小計	15,965,000	15,493,142	471,858	
合計	28,000,000	27,500,156	499,844	

赤穂市立歴史博物館指定管理者自主事業収支決算書
(令和4年度分)

(単位:円)

収入

項目	予算	決算	差引	内訳
図書発行等事業収入	853,000	626,700	226,300	図書頒布収入
赤穂市補助金収入	0	206,645	△ 206,645	財団(一般分)補助金
合計	853,000	833,345	19,655	

支出

項目	予算	決算	差引	内訳
図書発行等事業費				
印刷製本費支出	760,000	759,880	120	特別展図録、赤穂緞通クリアフォルダ
手数料支出	33,000	13,465	19,535	図書等販売手数料
諸謝金支出	60,000	60,000	0	執筆等謝礼
合計	853,000	833,345	19,655	

令和4年度 指定管理者管理運営事業評価シート

1 評価対象施設

公の施設の名称		赤穂市立歴史博物館				
所在地		赤穂市上仮屋916番地1				
指定管理者	団体名	(公財)赤穂市文化とみどり財団		指定期間	開始日	令和3年4月1日
	所在地	赤穂市中広864番地			終了日	令和6年3月31日
選定方法	非公募		評価実施年	指定期間3年のうち2年目		
施設設置目的	郷土の歴史に関する資料の収集、保管、調査研究及び展示等を行い、市民の教養の向上、文化の発展に資するため歴史博物館を設置する。					
主な実施事業	(1) 実物、複製、模写、模型、図書、フィルム等の資料を収集し、保管し、及び展示すること。 (2) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。 (3) 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。 (4) 講演会、講習会、展覧会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。 (5) 他の博物館、学校その他の関係機関と連絡し、及び協力すること。 (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事業					

2 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	目標	R3実績	目標	R4実績	目標	R5実績
a	利用者数	人	29,000	13,220	29,000	18,675	29,000	
b	稼働率	%		46		64		

3 指定管理業務にかかる収支状況

区 分		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	
収入計		A	25,928,698	28,333,501	28,290,000
指定管理料			22,582,823	24,353,586	22,460,000
利用料収入		C	2,392,040	3,146,570	5,000,000
自主事業収入			953,835	833,345	830,000
その他			—	—	—
支出計		B	25,928,698	28,333,501	28,290,000
事業費			24,974,863	27,500,156	27,460,000
内、人件費		D	11,744,482	12,007,014	12,416,000
内、再委託料		E	6,469,874	6,007,563	6,286,000
自主事業費			953,835	833,345	830,000
事業収入		A-B	0	0	0
利用料比率		C/A	9.2 %	11.1 %	17.7 %
人件費率		D/B	45.3 %	42.4 %	43.9 %
再委託費比率		E/B	25.0 %	21.2 %	22.2 %

・事業費は、該当年度及び過年度決算を記入する。また、右欄には、次年度予算を記載する。

補足説明	
------	--

4 事業評価

評価区分	評価項目	自己評価	所管評価	
① サービスの履行	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	B	B
	第三者への委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。	B	B
		外部委託業者に対して協定書等を遵守している。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行い、情報の共有が図れている。	B	B
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	B	B	
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	B	B	
財務状況	指定管理者の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	B	
総括	①サービスの履行に関する評価	B	B	
② サービスの質	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、利用料金の徴収、減免、還付等の受付業務を適切に行っている。	A	A
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉使い、態度、服装等接客が適切である。	B	B
	事業運営	事業計画に即し、必須事業を実施している。	B	B
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、維持管理を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B	
	要望、苦情等を整理し、遅延なく市に報告している。	B	B	
事業評価	利用者アンケート調査を実施し、その結果を利用者等に公表している。	B	B	
	利用者の利便性向上を図るため、自己評価を実施し、利用者等に公表している。	B	B	
提案事項	指定管理者の提案事項については、市と協議し、提案のとおり実施している。	B	B	
利用状況	利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	C	C	
総括	②サービスの質に関する評価	B	B	
③ 安定性	経理事務	専用の口座等を備え適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	③安定性に関する評価	B	B

所見 (成果、課題等)	【自己評価】 令和4年度中の入館者数は、新型コロナウイルス感染症の感染者数の減少等に伴い昨年度に比べ約4割増加しているが、コロナウイルス感染拡大前の入館者数に比べると7割程度で今年度については依然としてコロナ前には戻っていなかった。今後、感染対策の緩和に伴い観光客等の増加も見込まれることから、今後はSNSを活用した効果的な情報発信や新たに観光客を呼び込むようなPRを行い入館者の増加につなげたい。		
	【所管評価】 新型コロナウイルス感染症の影響が残る中で、兵庫県の対処方針に則った適切な感染症対策を行い、適切な施設管理に努めながら、常設展示の充実、特別展示の実施を行うことができています。また、兵庫県立歴史博物館共催巡回展の開催等利用者増への取り組みを行っている。 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが変更されるが、引き続き感染症対策を講じ、利用者増に向けてのPR、施設の安全な運営に努められたい。		
前年評価	B	総合評価	B

※評価基準

自己評価・所管評価	A	優良	協定書、仕様書、事業計画書等を遵守し、要求水準より優れている。
	B	良好	協定書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	C	要改善	協定書等に定める要求水準を下まわっており、改善が必要と認められる。
総括	A	優良	評価項目の評価が全てB以上であり、かつAが過半数である。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	評価項目の評価の内、Cが1割以上含まれる。
総合評価	A	優良	自己評価、所管評価の「総括」にCが含まれず、かつAが過半数以上ある。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	自己評価、所管評価の「総括」にCが2つ以上含まれる。